

令和4年度

決算を報告します

市政は、皆さんからの税金をもとに運営されています。この税金がどのように使われているかを知っていただくために、令和4年度の決算や令和5年度上半期（令和5年9月30日現在）の予算執行状況などをお知らせします。

問 財政課 回 924-3820 FAX 993-5944

一般会計の決算概況

実質収支額が5633万円で
八尾市は黒字なんだね。

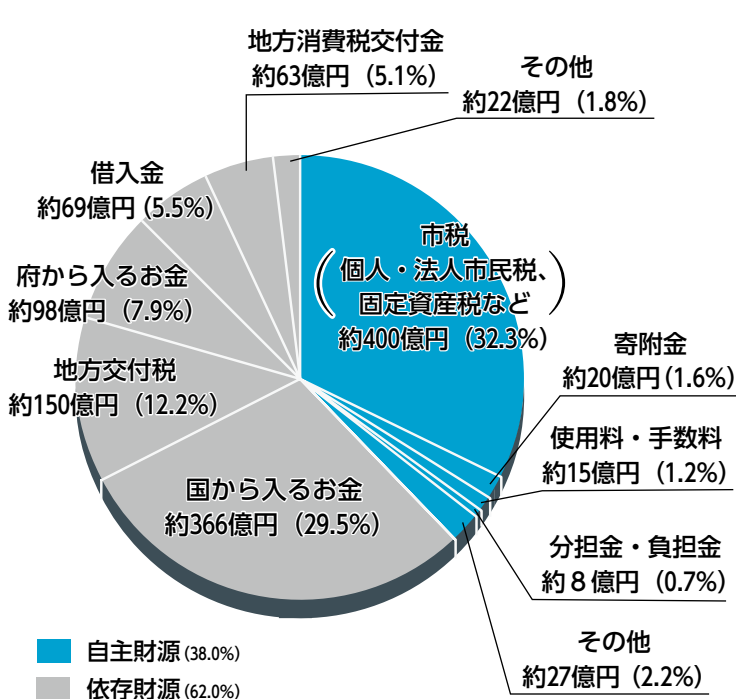


歳入総額	歳出総額	翌年度へ繰り越すべき財源 ^(※1)	=	実質収支額 ^(※2)
1237億8007万円	1234億5921万円	2億6453万円		5633万円

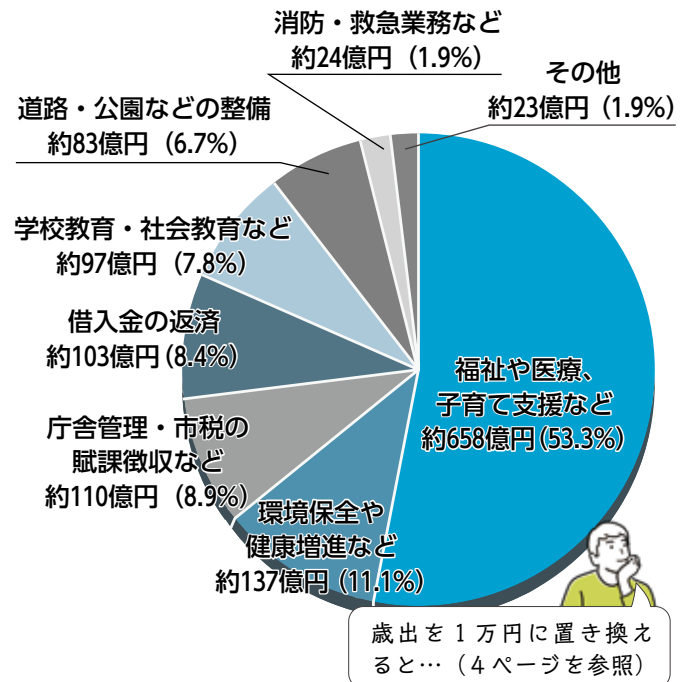
(※1) 翌年度へ繰り越すべき財源…翌年度に繰り越した事業に使うことになる財源。令和4年度から5年度には「小・中学校施設機能更新費」などで繰り越しがありました。

(※2) 実質収支額…歳入総額から歳出総額を差し引いて、さらに翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いたもので、市の実質的な収支の状況を示しています。

歳入 1237億8007万円



歳出 1234億5921万円



市民一人あたりの市税負担額 153,200円

市民一人あたりのために使われた額 472,667円

歳入と歳出の特徴

歳入は、市税では新型コロナウイルス感染症の軽減措置などがなくなり、個人市民税、法人市民税、固定資産税がすべて増収し、地方交付税、がんばれ八尾応援寄附金も増収となった一方で、子育て世帯臨時特別給付金給付事業費補助金なくなるなどの影響により国庫支出金は減収となりました。

歳出は、新型コロナウイルス感染症にかかるまん延防止のための高齢者施設などにおける検査費用や入院およびPCR検査などの医療費公費助成で増加となりました。また、がんばれ八尾応援寄附金の増収に伴う歳入確保経費の増加などもあり、全体で前年度より増加となりました。

歳出を1万円に置き換えると…

1万円で考えると
分かりやすいね



福祉や医療、
子育て支援など
5,331円



環境保全や
健康増進など
1,110円



庁舎管理・市税の
賦課徴収など
887円



借入金の返済
838円



学校教育・
社会教育など
782円



道路・公園などの
整備
672円



消防・
救急業務など
191円



その他
(産業振興、市議会の運営費用など)
189円



特別会計・企業会計 ～決算と予算概況～

(単位：万円)

		令和4年度決算額			令和5年度現計予算額 (前年度繰越額を含む) 9月末予算額		
		収入済額	支出済額	差引			
特別会計	国民健康保険事業	2,881,978	2,859,658	22,320	収入	2,873,703	
	財産区	2,058	2,058	0	支出	527	
	介護保険事業	2,771,998	2,746,089	25,909	収入	2,846,958	
	後期高齢者医療事業	761,190	756,175	5,015	支出	790,855	
	土地取得事業	103,680	103,680	0	収入	112,156	
	母子父子寡婦福祉資金貸付金	9,402	1,128	8,274	支出	5,863	
企業会計	病院事業	収益的収支	1,653,266	1,552,161	101,105	収入	1,485,689
		資本的収支	103,622	210,156	▲106,534	支出	1,645,656
	水道事業	収益的収支	545,691	516,269	29,422	収入	148,173
		資本的収支	117,670	274,360	▲156,690	支出	236,521
	公共下水道事業	収益的収支	949,657	884,560	65,097	収入	610,317
						支出	574,948
		資本的収支	268,261	714,182	▲445,921	収入	143,495
						支出	446,055

●特別会計

特定の事業を行う場合に一般会計と区別して運営しているもの

●企業会計

民間企業のように利用料金などの収益で運営しているもの

●収益的収支

公営企業の経営活動に伴い発生したすべての収入とそれに対応する支出

●資本的収支

公営企業の将来の経営活動に備えて行う諸設備の建設改良などの支出とその財源となる収入

さまざまな指標から財政状況を分析

財政の健全度

各比率が「早期健全化基準」および「財政再生基準」を超えた場合、財政の健全化に必要な措置を講じることが義務付けられていますが、本市の令和4年度決算はいずれも基準を下回っています(赤字額がないものは「-」で表示)。

(単位：%)

項目	内容	八尾市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	一般会計などの実質赤字額が標準財政規模*に占める割合	-	11.25	20.00
連結実質赤字比率	全会計の実質赤字額が標準財政規模に占める割合	-	16.25	30.00
実質公債費比率	借入金の返済額などが標準財政規模に占める割合	3.4	25.0	35.0
将来負担比率	一般会計などが将来負担すべき負債の残高が標準財政規模に占める割合	-	350.0	-

項目	内容	会計名	八尾市	経営健全化基準
資金不足比率	公営企業の事業規模に対する資金不足の割合	病院事業会計	-	20.0
		水道事業会計	-	
		公共下水道事業会計	-	

*標準財政規模…標準的な行政活動を行うために必要な一般財源(税や交付税など使い道が特定されていない収入)の規模

記事内容の詳細は市ホームページでご覧いただけます。

令和4年度の主なお金の使い道



いろいろな取り組みに使われたんだね

こども総合支援センター整備事業

約1億5871万円

子どもや子育て世帯が気軽に集い、交流や相談ができる子ども・子育ての総合的な支援拠点として、こども総合支援センター「ほっぷ」を整備し令和4年10月に生涯学習センター内に開設しました。

文化会館改修事業 芸術文化振興事業

約15億2529万円

芸術文化振興の拠点である八尾市文化会館について、今後も市民が安心して利用できるように安全面や機能面に関する改修工事などを進め、令和4年8月にリニューアルオープンしました。

中学校給食管理運営業務 中学校給食施設整備事業

約1億2971万円

成長期にある中学生の望ましい食の実現をめざし、令和5年9月からの市立中学校全員給食に向けて、配膳室などの施設整備や機器の増設などを実施しました。

新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策にかかる取り組み

小学校給食費無償化事業

約5億7069万円



子育て世帯における経済的負担軽減のための緊急的な対策として、市立小学校および義務教育学校（前期課程）の学校給食費の無償化を1年間延長しました。

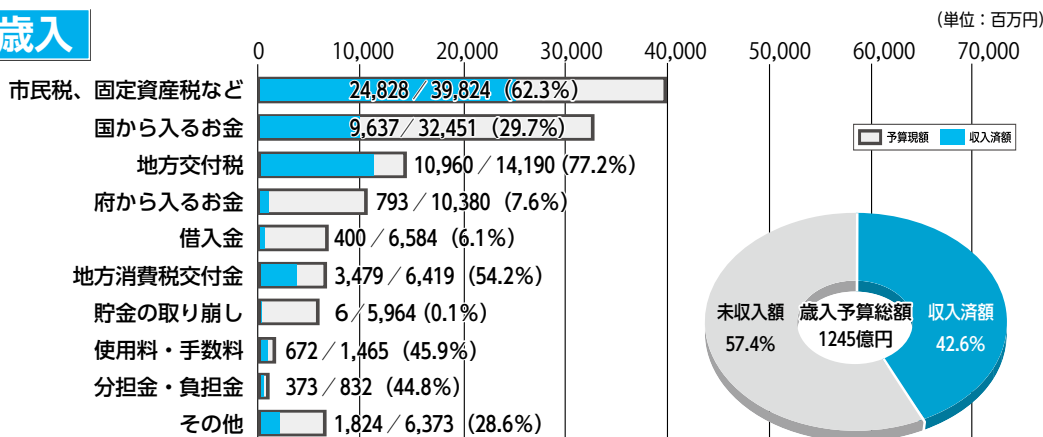
- ・八尾市民応援給付金事業 約14億5203万円
- ・住民税均等割のみ世帯への電力・ガス食料品等価格高騰緊急支援給付金事業 約2億192万円
- ・受験生等インフルエンザ予防接種の自己負担額無償化事業 約3460万円
- ・キャッシュレス決済ポイント還元事業 約6億2928万円
- ・八尾市・藤井寺市おでかけ応援事業 約6094万円
- ・水道料金（基本料金）4カ月全額減免 約3億6978万円

令和5年度予算執行状況

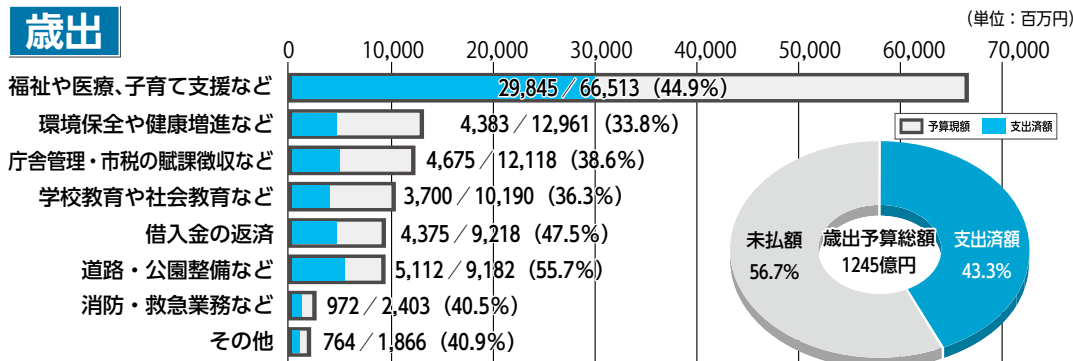
(令和5年9月30日現在)

令和5年度の一般会計総額（前年度繰越額を含む9月末予算額）は、歳入・歳出共に約1245億円、うち歳入では約42.6%を収入、歳出では約43.3%を支出しました。

歳入



歳出



市有財産など

(令和5年9月30日現在)

市有財産は？

土地	1,753,954㎡
建物	675,309㎡
貯金	146億6701万円



一時借入金は？

0円

借入金残高は？

858億9563万円

